

研 究 報 告 書

学 校 名 沖縄県立嘉手納高等学校

1 研究主題

「SDGs 達成に向けた持続可能な教育実践の研究と実践」

2 主題設定の理由

下記の内容について、取組を強化するために主題を設定した。

- 1) 本研究指定をカリキュラム・マネジメントの中に位置づけ、全職員体制で取り組む。
- 2) ユネスコスクール・キャンディデート校として、多様な経験・体験を通して、心の繋がる異文化交流を持続・継続する
- 3) 各授業、特別活動、課外活動の中で「SDGs」の観点を導入した授業を実践する。
- 4) 各授業、特別活動、課外活動の中で地域と連携した取組を実践する。

3 研究実践の主な内容

(1) 研究方針

総合学科の特性を生かし、学校全体として SDGs を念頭において授業を組み立て、更なる地域や各種団体との連携を模索し、持続可能な教育活動の開発を行う。

(2) 研究組織

全体的な企画運営は、総合学科研究部（構成員 5 名）を中心に取り組む。
授業などの取組などは、系列委員会で取り組む。

(3) 研究内容

- ① 福島県研修旅行
- ② SDGs 講話隊
- ③ SDGs パスポートの活用に関する職員研修
- ④ 1 年生向け SDGs パスポートの活用に関する講話
- ⑤ 防災講話隊小学校出前講座
- ⑥ 韓国亀尾（クミ）市の亀尾高校との交流会
- ⑦ 授業「スポーツの科学」での体験授業
- ⑧ 自然観察ガイド
- ⑨ ミニデイサービス

(4) 研究実践例

① 福島県研修旅行



活動として、夏休み期間での8月中旬から事前学習を行い、2024年11月5日(火)から3泊4日で、福島県相馬市や双葉町の被災地を視察研修、また相馬総合高等学校の生徒との交流会も行ってきました。その後、研修の報告として、12月に開催した「嘉手納高校総合学科発表会」にて、展示と舞台での発表を行いました。

② SDGs 講話隊



2024年9月に、嘉手納町内の小学校2校と沖縄市立美里小学校、読谷村立喜納小学校で、「正しく付き合おう ネット・スマホの世界」をテーマに授業1コマ分の講話を小学生に行って来ました。小学生からは、「SNSで広がる言葉やさまざまな事は取り戻せない、という言葉が印象に残りました。」「SNSを時間をしっかり決めてトラブルに関わらないようにする」などの感想ももらいました。実際に講師として頑張った生徒は、「言葉の大切さやSNSの危険性、影響性を授業の中で伝えることができた」と話していました。

③ SDGs パスポートの活用に関する職員研修

8月30日(金)に、沖縄県ユネスコ協会より石垣理事長、栩野理事をお招きして、ユネスコ協会の概要、SDGsの歴史及びSDGsパスポートの活用法などを研修しました。



④ 1年生向けSDGs パスポートの活用に関する講話



9月13日に、沖縄県ユネスコ協会から石垣理事長、栩野理事

をお招きし、SDGsの歴史、SDGsパスポートの利活用法について講話をいただいた。

⑤ 防災講話隊小学校出前講座



東日本大震災について福島県で昨年度学んだことを地域の小学生に伝えることで防災について考える機会とし、「総合的な探究の時間」の探究活動として、小学生に分かりやすい内容・方法について考え発信する力を養うことを目的に行った。講師となった高校生は、「災害を他人事だとは思わずに、自分の命を守ることの大切さを分かって欲しい」との気持ちを持って臨みました。

⑥ 韓国亀尾（クミ）市の亀尾高校との交流会

選択授業「韓国語」の中で、オンライン交流をしている韓国亀尾市の亀尾高校の生徒との交流会を10月25日に行った。対面での言葉・異文化交流を行うことで互いの国について考え外国を身近に感じ、国際交流への関心を高めることを目的とした。

この日は、新人大会の激励式もあり、韓国の高校生も参加した際、飛び入りで亀尾高校の生徒も舞台上でダンスを披露し、賑やかで楽しい交流会を行うことができた。



⑦ 授業「スポーツの科学」での体験授業

9月23日に琉球リハビリテーション福祉学院と連携して、パラスポーツ実習を選択じゅぎょう「スポーツの科学」で行った。

写真は、シッティングバレー、ブラインドサッカーの様子である。パラリンオリンピックが盛り上がりを見せる中、ハンディキャップを負った方々の行うスポーツを実際に体験し、福祉スポーツを考える機会とした。



⑧ 自然観察ガイド

1 1月に嘉手納町立屋良小学校の3年生を対象に事前観察ガイドを行った。

講師を選択授業「生物」を受けている2年生が務めた。事前に屋良小学校の校庭にて植樹されている樹木や花を観察調査し学習したことを、小学生にガイドをしていくことを行った。



⑨ ミニデイサービス

福祉系列授業を受けている2・3年生が、町内のデイサービスサンハートにて、ミニデイサービスを行った。地域の高齢者との関わりを通して、コミュニケーションの方法や基本的な支援の在り方を学び、一人ひとりの視野を広げて共に生きる社会を形成する力を養っていくことを目的としている。

内容は、高齢者に対して、ハンドマッサージ、タクティールケア、レクリエーションを行うものとなった。



⑩ その他

地域の小学生を対象にした「夏休み自由研究 in 嘉手納高校」、国際人文系列の授業での「カテナハイスクールの生徒との交流会」、平和学習講演会なども毎年行っている。

4 研究実践の成果と課題

〔成果〕①研究方針で「地域や各種団体との連携を模索し、持続可能な教育活動」としたが、今年度行った活動は、どれも昨年度も行った活動であり、持続可能な教育実践を行えることができた。

②どの活動も、SDGsの理念が定着して、生徒も肩肘を張ることなく、自然体で行えることができた。

〔課題〕①生徒会を中心に、生徒主体の企画運営のできる教育活動をひとつ作ることができたら、よりSDGsが定着し、地域との連携も強いものになるのでは、と考える。